

常任委員会レポート

■総務委員会

●平成24年度一般会計補正予算(第6号) ー緊急経済対策事業ー

Q 国の緊急経済対策事業に該当させるために、平成25年度に予定していた事業の前倒しをするとのことだが、どのくらい有利になるのか。

A 事業を前倒しすることにより、通常の補助金や交付税の額に加えて、2~3億円の財政措置が見込まれる。また、この取り組みにより、新年度に地域の元気臨時交付金が交付されるため大きな負担軽減になる。

●平成25年度一般会計予算 ーパートナーシップによるまちづくり事業ー

Q 平成25年度からのパートナーシップの取り組みは、地域課題や地域づくりがテーマであるとのことだが、課題の選択方法や取り組むメンバーをどのように考えているのか。

A この事業に取り組むグループのメンバーや地域課題については、それぞれの地域担当と相談しながら決めていただくことを考えている。

ー津波対策ー

Q 津波ハザードマップを作成するにあたって、現在建設中の津波防御施設は反映させるのか。

A 市独自のハザードマップには、建設中の防護施設を含め、防潮堤が残った場合と防潮堤が壊れた場合を想定して作成する。



浅羽南地区に設置された津波避難タワー

■民生文教委員会

●平成24年度一般会計補正予算(第6号) ー保育所運営費ー

Q 0~2歳の入所園児が増えたために保育所運営費を増額することだが、保育所の定員が決まっているにも関わらず、年度途中で増額することになった理由は何か。

A 定員は決まっているが、認可保育所は年間を通して最大で全体の定員の120%まで受け入れ可能となっている。0~2歳児の入所児童が多かったため、今回の補正となった。

●平成25年度一般会計予算 ー予防接種事業(肺炎球菌ワクチン)ー

Q 来年度から高齢者肺炎球菌ワクチンの予防接種に対する助成が導入されるが、対象年齢と助成割合はどのようになっているか。

A 対象を75歳以上とし、肺炎球菌の予防接種費用8,000円のうち3,000円を公費負担するもので、接種率を約10%として833件という件数を算出した。